

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 30分

法 規

〔1〕 次の記述は、電波法の目的である。□ 内に入るべき字句を下の番号から選べ。

この法律は、電波の公平かつ □ な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。

- 1 能率的
- 2 経済的
- 3 積極的
- 4 能動的

〔2〕 総務大臣が無線従事者の免許を与えないことができる者は、無線従事者の免許を取り消され、取消しの日からどれほどの期間を経過しないものか。次のうちから選べ。

- 1 1年
- 2 2年
- 3 3年
- 4 5年

〔3〕 無線局の臨時検査(電波法第73条第5項の検査)において検査されることがあるものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の知識及び技能
- 2 無線従事者の勤務状況
- 3 無線従事者の資格及び員数
- 4 無線従事者の住所及び氏名

〔4〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 通信の相手方の制限
- 2 電波の型式の制限
- 3 無線従事者の業務の従事停止
- 4 無線局の運用の停止

〔5〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 2 直ちに廃棄する。
- 3 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 4 2年間保管する。

〔6〕 固定局に備え付けておかなければならない書類はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者免許証
- 2 免許状
- 3 無線従事者選解任届の写し
- 4 無線設備等の点検実施報告書の写し

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 2 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 3 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信
- 4 特定の相手方に対して行われる無線通信

〔8〕 「OSO」を前置した呼出しを受信した無線局は、応答する場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 直ちに付近の無線局に通報する。
- 2 すべての電波の発射を停止する。
- 3 直ちに非常災害対策本部に通知する。
- 4 混信を与えるおそれのある電波の発射を停止して傍受する。

〔9〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信は、有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
- 2 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。
- 3 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。
- 4 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。

〔10〕 モールス無線通信において、呼出しに使用した電波と同一の電波により通報を送信する場合に順次送信する事項のうちその送信を省略することができるのはどれか。次のうちから選べ。

- | | | |
|---|---------------------------------------|----------------|
| 1 | 相手局の呼出符号 | 1回 |
| 2 | (1) 相手局の呼出符号
(2) DE | 1回
1回 |
| 3 | (1) 相手局の呼出符号
(2) DE
(3) 自局の呼出符号 | 1回
1回
1回 |
| 4 | (1) DE
(2) 自局の呼出符号 | 1回
1回 |

〔11〕 非常通信の取扱いを開始した後、有線通信の状態が復旧した場合は、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 速やかにその取扱いを停止する。
- 2 非常の事態に応じて適宜な措置をとる。
- 3 なるべくその取扱いを停止する。
- 4 現に有する通報を送信した後、その取扱いを停止する。

〔12〕 モールス無線通信において、通報を確実に受信したときに送信することになっている略符号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 ラタ
- 2 T U
- 3 R
- 4 VA